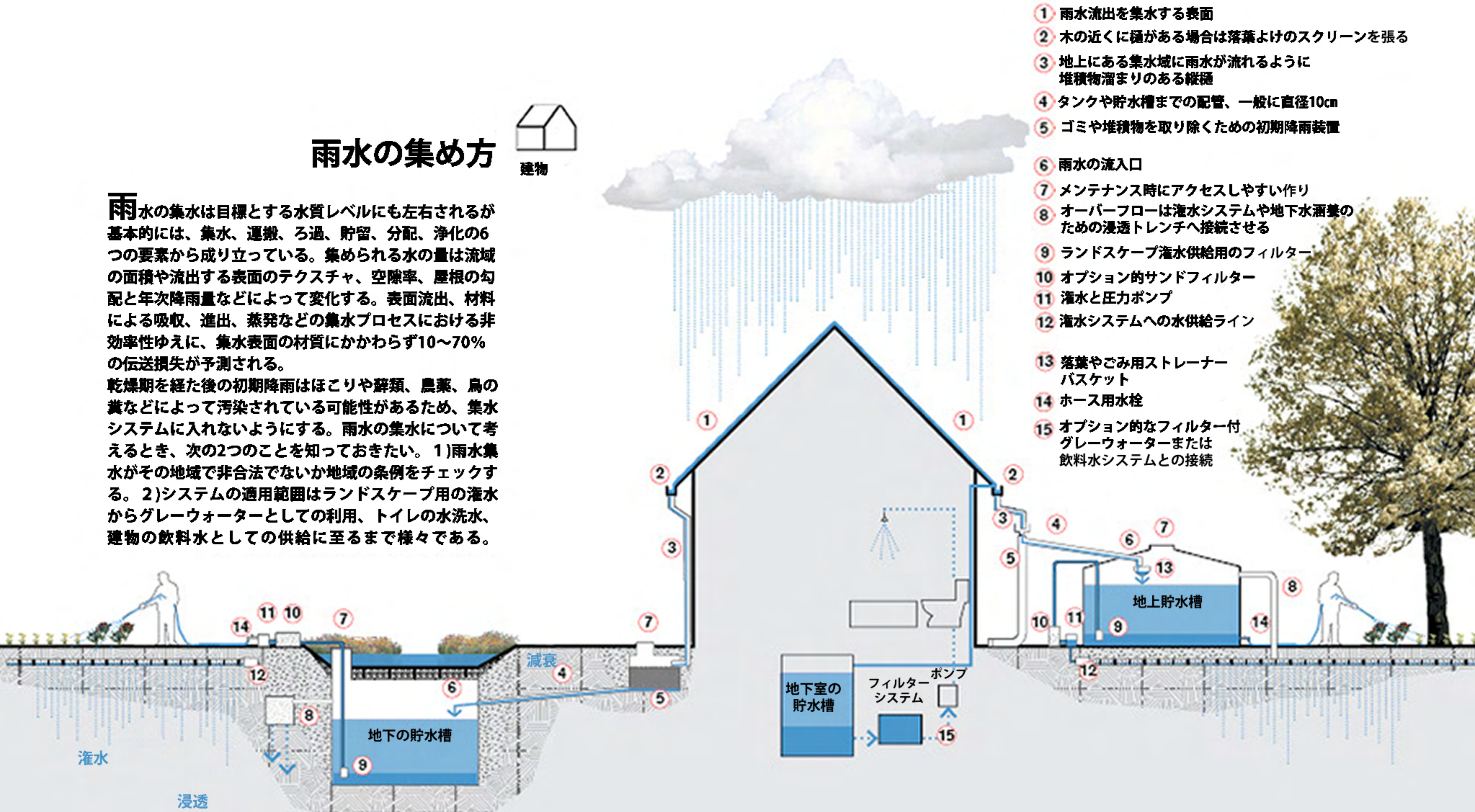


雨水の集め方



雨水の集水は目標とする水質レベルにも左右されるが基本的には、集水、運搬、ろ過、貯留、分配、浄化の6つの要素から成り立っている。集められる水の量は流域の面積や流出する表面のテクスチャ、空隙率、屋根の勾配と年次降雨量などによって変化する。表面流出、材料による吸収、進出、蒸発などの集水プロセスにおける非効率性ゆえに、集水表面の材質にかかわらず10~70%の伝送損失が予測される。

乾燥期を経た後の初期降雨はほこりや藓類、農薬、鳥の糞などによって汚染されている可能性があるため、集水システムに入れないようにする。雨水の集水について考えるとき、次の2つのことを覚えておきたい。1)雨水集水がその地域で非合法でないか地域の条例をチェックする。2)システムの適用範囲はランドスケープ用の灌水からグレーウォーターとしての利用、トイレの水洗水、建物の飲料水としての供給に至るまで様々である。



- ① 雨水流出を集水する表面
- ② 木の近くに樋がある場合は落葉よけのスクリーンを張る
- ③ 地上にある集水域に雨水が流れるように堆積物溜まりのある縦樋
- ④ タンクや貯水槽までの配管、一般に直径10cm
- ⑤ ゴミや堆積物を取り除くための初期降雨装置
- ⑥ 雨水の流入口
- ⑦ メンテナンス時にアクセスしやすい作り
- ⑧ オーバーフローは灌水システムや地下水涵養のための浸透トレンチへ接続させる
- ⑨ ランドスケープ灌水供給用のフィルター
- ⑩ オプション的サンドフィルター
- ⑪ 灌水と圧力ポンプ
- ⑫ 灌水システムへの水供給ライン
- ⑬ 落葉やごみ用ストレーナーバスケット
- ⑭ ホース用水栓
- ⑮ オプション的なフィルター付グレーウォーターまたは飲料水システムとの接続